

小児科の現状と未来

瀬 島 齊

キーワード：発達症；健やか親子21計画；保健対策

(雲南市立病院医学雑誌 2019; 16(1): 26-27)

はじめに

本稿では、雲南市立病院（以下、当院）小児科の現在・過去・未来について述べます。現在当科は、2019年4月に赴任した瀬島齊（副院長兼小児科診療部長、筆者）と2017年4月から赴任されている山口清次先生（鳥根大学名誉教授、当院名誉顧問）の二人で診療を行っています。季節ごとの感染症、気管支喘息、アレルギー性疾患の診療、院内出生新生児診察などの他、月・金午後の神経外来で筆者が、主に発達症を持つ子を対象として診療しています。さらに、乳児期から始まる沢山の予防接種、乳幼児健診が業務の柱です。

当院小児科診療の変遷

さて、当科は創設以来、鳥取大学（鳥大）小児科学教室出身の先生が赴任されていました。約20年前は、田中雄二医長（現、松江市立病院副院長）の下、1年交代で若手医師が派遣・診療されていたようです。その中には、筆者がよく知っている先生も多数いらして、親しみを感じる次第です。

一方、2004年から開始された新研修医制度をきっかけに、多数の地方病院に大学医局医師の派遣中止や撤退という苦難がもたらされました。そうした中、鳥大医局の方針で、当科の診療は鳥根大学（鳥大）小児科に移譲されました。

当時鳥大で医局長だった筆者は、鳥大医局長辻靖博先生（現、松江市立病院小児科部長）から相談連絡を受け、山口教授（現、当院名誉顧問）をはじめ医局幹

部と協議した結果、2003年4月から葛西武司先生が医長として赴任することになりました。その後、2005年10月から2007年9月まで根宜由実、2007年10月から2009年3月まで再び葛西武司、2009年5月から2019年3月まで大家隆晴の各先生が医長を務めました。また、医長指導下に若かりし頃の堀江昭好、山田健治、虫本雄一、安部真理子、樋口強、南憲明、高橋智男の各先生が交代で勤務いたしました。これら若手の先生方は今では皆、立派に成長し各分野で活躍しています。

小児科医療の変遷

さて、少子化が続き、医療の集約化と連携、疾患診断・治療技術が進歩する中、小児科医がなすべき業務も変遷しています。予防接種の種類拡大と普及で麻疹、風疹、水痘などは流行らなくなり、感冒契機の肺炎、化膿性髄膜炎で入院する小児も激減しました。一方、「ちょっと発達が気になる子」は増え、悩みや相談を希望される保護者も多いと思われます。そうした中、国の「健やか親子21計画」には五つの課題、すなわち、①切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策、②学童期・思春期から成人に向けた保健対策、③子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり、④育てにくさを感じる親に寄り添う支援、⑤妊娠期からの児童虐待防止対策が挙げられています。この課題解決には小児科医だけでなく、産科医、助産師、保健師、保育士、教師、行政関係者、地域住民など多くの人を巻き込み活動していく必要があります（図1）。

雲南市立病院小児科

著者連絡先：瀬島 齊 雲南市立病院小児科〔〒699-1221 雲南市大東町飯田96-1〕

E-mail: hospital-soumu@city.unnan.shimane.jp

今後に向けた使命

地域小児医療を担う当院では、白血病や先天性心疾患、早産児などは速やかに大学をはじめとする高次医療機関に依頼する一方で、前述の「健やか親子21計画」の課題を念頭に業務を行っていく必要があると考えています。周囲を見渡すと幸い、院内には産科今村加代先生、前向きで能動的な助産師、看護師、地域連携室スタッフが、市役所には保健師さん、子ども家庭支援課「すワン」のスタッフがいらして、同じ方向を見て活動する条件が整っているように思います。

今後は、さらに連携を強化し地域小児医療、小児保健活動を展開すること、そして、この活動を次世代の小児科医にバトンタッチすることが自分たちの使命と考えています。

表1 島根大学から派遣以降の小児科医長（部長）

2003年4月～2005年9月	葛西 武司
2005年10月～2007年9月	根宜 由実
2007年10月～2009年3月	葛西 武司
2009年5月～2019年3月	大家 隆晴
2019年4月～	瀬島 齊



図1 小児科の出前講座

Present status and future design of the department of pediatrics of Unnan City Hospital.

Hitoshi Sejima

Department of pediatrics, Unnan City Hospital

Correspondence: Hitoshi Sejima, MD, PhD, Department of pediatrics, Unnan City Hospital [96-1 Daito-cho Iida, Unnan, Shimane 699-1221, JAPAN]

Telephone: 0854-47-7500 / Fax: 0854-47-7501

E-mail: hospital-soumu@city.unnan.shimane.jp